

事業報告

◆連続講座 なるほど!世界セミナー

昨年度までの「世界の歩き方講座」をリニューアルし、より幅広い視点から世界各地を紹介する新講座を開講しました。

～昆虫の社会と世界の自然～(7月1日、8日)

社会性昆虫の興味深い生態を紹介しながら、オーストラリアやスリランカ、南アフリカ、ブータンなどの自然や文化を紹介しました。

～台湾の歩き方・楽しみ方～(10月24日、31日)

映画「千と千尋の神隠し」のモデルとも噂される九份の町や、MRT(地下鉄)の乗り方、市場の楽しみ方などを紹介しました。

◆趣味(ホビー)を英語(イングリッシュ)で楽しく学ぶ「ホビングリッシュ講座」 ～イタリア編～(6月22日)

今回は、イタリア料理をテーマとした講座。調理活動および講師との交流を通して、英会話と料理を楽しみました。

◆親子の国際講座

～世界に誇る日本のおもてなし～(6月7日)

小学生と保護者が、ゲームやクイズ、料理を通して、外国人にも紹介できる日本の文化について、楽しみながら理解を深めました。

◆作ってみよう世界の料理

～中国四川編～(6月29日)

中華料理と食文化を体験しました。

～ペルー編～(8月31日)

世界で注目されるペルー料理に挑戦しました。

◆青少年国際理解講座

～日本を飛び出せ!宇宙飛行士の仕事とは?～(7月27日)

国際宇宙ステーションの建設計画に携わり、宇宙飛行士の教育を務めた、宇宙開発のプロフェッショナルにお話いただきました。

公益財団法人水戸市国際交流協会基金へのご支援のお願い

当協会は、国際交流活動の促進や地域の国際化、多文化共生の実現に向けて様々な事業を行っております。今後さらにこれらの活動を充実させていくためには、多くの皆さまからのご支援が必要です。お寄せいただいた寄付金は、水戸市国際交流センターで行われる国際交流促進のための事業に活用されます。皆さまのあたたかいご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

当協会への寄付金は、「公益財団法人」への寄付として、**税制上の優遇措置が認められています。**

※詳しくは当協会事務局にお問合せください。

水戸市国際交流協会のFacebookをはじめました

水戸市国際交流協会のFacebookページができました。より多くの人に、協会の事業について知ってもらえるように講座の案内などの情報を発信しています。

「水戸市国際交流協会」で検索をし、「いいね!」をお願いします。

水戸市国際交流協会 Facebook 検索



国際交流のついで(2月～3月開催予定)

水戸市内の国際交流団体の活動を紹介するパネル展や、「食」に関するイベント・展示などを行います。

◇機関紙へのご意見やご感想をお待ちしています。

開館時間：午前9時から午後9時まで
休館日：月曜日、祝日(土曜日を除く)

〒310-0024 水戸市備前町6-59
水戸市国際交流センター内
(公財)水戸市国際交流協会
Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793
http://www.mito.or.jp/
E-mail:mcia@mito.ne.jp



Mito City International Association

(公財)水戸市国際交流協会機関紙
第50号
2014.12

第24回水戸市学生親善大使がアナハイム市を訪問しました

7月25日から8月3日までの10日間、平成26年度水戸市学生親善大使の8名が、水戸市と国際親善姉妹都市であるアナハイム市(アメリカ・カリフォルニア州)を訪問しました。市長表敬訪問や消防署視察などでは、親善大使一人ひとりが質問を行い、アナハイム市について理解を深めました。市民宅でのホームステイでは、当初、ネイティブの英語に不慣れで戸惑いもありましたが、帰国の頃には、家族の一員として迎えてくれたホストファミリーと打ち解けていました。さよならパーティーでは、アナハイムの方々と一緒にみとちゃんダンスを踊って交流を深め、思い出に残る訪問を締めくくりました。



アナハイム市長表敬訪問

滞 在 日 程	
7月25日(金)	アナハイム到着
7月26日(土)	(午前)ホストファミリーデー (午後)ワルカムパーティー、メジャーリーグ観戦
7月27日(日)	ホストファミリーデー
7月28日(月)	ディズニーランド、カリフォルニア・アドベンチャー
7月29日(火)	英語研修、市長表敬訪問、消防署視察、警察本部視察
7月30日(水)	英語研修、ビーチパーティー
7月31日(木)	英語研修、サークス鑑賞
8月1日(金)	英語研修、さよならパーティー
8月2日(土)	アナハイム出発
8月3日(日)	帰国



平成26年度水戸市学生親善大使

- 佐々木 瑛 (中2) 近重 佑奈 (中3)
 - 高橋 直央 (中3) 大津 道生 (高1)
 - 米川 さおり (高1) 大久保有華 (高2)
 - 大森 美紀 (高2) 飛田 優輔 (高2)
- 団長 幸川 秀策
(水戸市立双葉台中学校教諭)

滞在は、アナハイム市姉妹都市委員会が認めた市民ボランティア宅にて、全泊ホームステイしました。

アナハイムの思い出



一番感じたのは「優しさ」です。体調を崩したとき、ホストマザーがすごく心配して、強くハグしてくれたことが何よりもうれしかったです。この出来事をきっかけに、アメリカだけでなく日本でもこれまで優しさの恩恵を受けてきたことを改めて感じました。(高橋 直央)



このプログラムは本当に楽しく、実りあるものでした。素晴らしい仲間たちと充実した10日間を過ごした事は未だかつてない最高の思い出であり、プログラムに携わった全ての人への感謝の気持ちでいっぱいです。そして学んだことを今後の生活で生かせるように努力し、もう一度アナハイムを訪れたいです。(大久保 有華)

学生親善大使のみさんの体験や感想は、学生親善大使報告書に記載されています。過去の報告書は、当協会のホームページ上でも閲覧できます。
(平成26年度分も近日掲載予定です。)



外国人の先生に、英語で教わったよ!

世界とつながる子ども教室「プチ体験!英語で授業」(8月15日~17日)

8月15日から17日までの3日間、小学校低・中学年の児童(1,2年生と3,4年生の2グループ)を対象に、コミュニケーションツールとしての英語に触れ、世界中の人々と交流できる喜びを知ってもらう講座を開催しました。

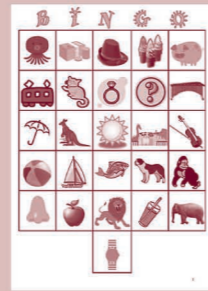
日ごとに、アメリカ、ガーナ、フィリピン出身の講師とともに、英語のうた、メッセージカード作り、アルファベットを使ったゲームなどを行いました。はじめは緊張気味だった人も、慣れてくると「ハロー」と元気に挨拶するなど、英語に親しんでいる様子でした。



フィリップ先生と、英語の歌を歌いました



ミッシェル先生と英語のゲームをしました



講座後のアンケートから:

- ・外国の方と交流を持てる機会が少ないので、今回参加できて子どもが喜んでいました。
- ・英語教育を目的に申し込んだが、異文化を理解し受容できる素晴らしい機会になった。



パーコフィ先生と、英語のメッセージカードを作りました



がんばった子どもたち全員に、終了証をプレゼント

共生と協働を目指して

水戸市には現在約3,000人の外国人が暮らしています。水戸市国際交流協会では、日本人と外国人が同じ市民としてお互い助け合い、共に楽しむ社会を目指し、市民団体やボランティア団体、水戸市と協力して事業を行っています。

外国人市民のための防災講座(7月12日)

市民団体「みと男女平等参画を考える会」、水戸市地域安全課との共催で、水戸市国際交流センターにて「外国人市民のための防災講座」を開催しました。各国語版の「わが家の防災ノート」が参加者全員に配布された他、「炊飯袋」を使って炊いたご飯や、備蓄食料のクラッカー、缶詰などを配布し、非常食の試食を行いました。また、地震が発生したという想定で、全員が一斉に机の下に退避する「シェイクアウト訓練」を体験しました。



地震発生!机の下に避難(シェイクアウト訓練の様子)

参加者の声:

- ・とてもためになった。非常食を試食できるのも良い。
- ・実演した内容がとても分かりやすく、よく覚えられます。
- ・防災ノートが非常に分かりやすい。スタッフの解説もユーモラスでとても良かった。

国際交流パーティー(10月18日)

日本語ボランティア団体「ラブニール」との共催で、水戸市国際交流センターにて開催した国際交流パーティーには、日本人30人、外国人市民66人が集まりました。

今回は、大成女子高等学校箏曲部の皆さんのご協力により、日本の伝統音楽である琴の演奏を聴きました。アメリカ、インド、ドイツ、ガーナ、イギリス、中国、ベトナムなど、各国出身の参加者の皆さんが、自国を紹介し、母国語での歌を披露しました。また、全員が輪になって踊った「ジェンカ」や、ビンゴゲームなどを通じて会場に一体感が生まれました。



大成女子高等学校箏曲部による演奏

どようサロンが新しくなりました



参加者の声:

- ・色々な世代の方と話すことができとても楽しかったです。
- ・フランスのことを知ることができて良かったです。
- ・ガーナが身近になりました。

土曜日の午後、お茶とお菓子を囲んで、日本人と外国人が楽しくおしゃべりをする「どようサロン」。今年からは、言語の区別をなくし、第1・3・4土曜日の13時30分から行っています。また、通常のサロンと趣向の違った「ティーパーティー」を、年に4回開催しています。ティーパーティーでは国に焦点を当て、外国人市民をゲストスピーカーとして招き、それぞれの出身国をご紹介します。その後は各国のお菓子や飲み物を囲んで楽しくお話しします。



レブ・エルワンさん(フランス出身)日本人が意外と知らないフランスの話を、日本語でしてくださいました。(5月3日)



エドワード・ジャンフィさん(ガーナ出身)ガーナの歴史について、英語で熱心に話してくださいました。(8月23日)